

- コシヒカリの出穂期は、8月3日頃と平年より2日程度遅くなりました。出穂期以降、20日間の気温は平年より高くなったため、成熟期は平年並みと予想されます。
- 出穂後10日間の気温が高く推移したため、胴割れしやすい米になっています。
刈遅れと急激な乾燥の防止で、胴割米のない高品質なアルプス米に仕上げましょう。

1 刈取りまでの水管理

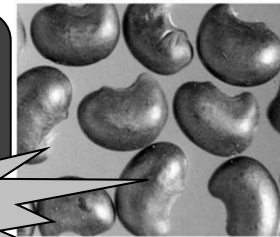


【YouTube】
15 登熟期間
の水管理

- (1) 落水が早いと胴割米が多発します。刈取りの5～7日前までは間断かん水を行い、稲体の活力を維持しましょう。
- (2) フェーンなど高温が予想される場合は事前に入水し、急な枯上りを防ぎましょう。
※フェーン現象予測（富山県農業共済 HP）をご活用ください。
<http://micos-sa.jwa.or.jp/hokuriku/nosai-t/index.htm>



※刈取りの前までにクサネム等の雑草を抜き、異物混入を防ぎましょう！



2 適期刈取



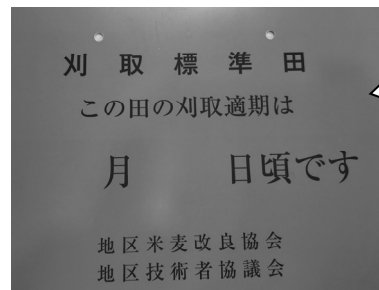
【YouTube】
16 収穫作業

混入すると
除去が困難...

- (1) 籾の黄化状況を確認し、籾黄化率80%を目安に刈取りを始め、適期内に終了するよう努めましょう。

【コシヒカリ出穂期別刈取開始適期の目安】

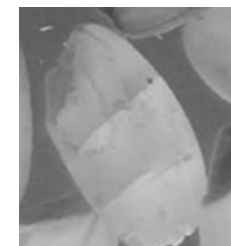
出穂期	刈取開始適期 籾黄化率 80%
7月31日	9月4～6日
8月2日	9月6～8日
8月4日	9月8～10日



地域により成熟期に差があるので、必ず「刈取適期表示札」を参考にして下さい。

※胴割米の発生防止のため、刈遅れに注意しましょう。

- (2) 砂壤土や枯上りの早い圃場から刈り始め、刈遅れによる胴割米の発生を防ぎましょう。
- (3) 大規模経営体では、籾黄化率80%から刈取りを開始できるよう、計画的に作業を進めましょう。



<胴割米>

胴割米が
1番困る
んだよね



刈取作業の留意点

- ① 刈取りは、籾が乾いてから開始しましょう。
- ② 扱胴回転数、扱き深さ等を適正に調節しましょう。
- ③ ヤケ米発生防止のため、収穫後4時間以内に乾燥機に入れ送風しましょう。
- ④ コンバインの各部につまりや故障が発生した場合は、必ずエンジンを止めてから対処しましょう。

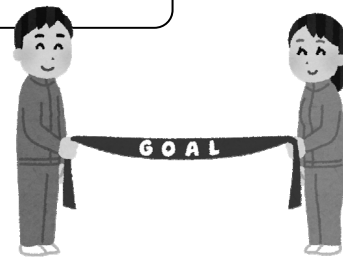
3 カントリーエレベーターやライスセンターからのお知らせ

- (1) 平日利用助成、遠隔地利用助成、早生・晩生利用助成、大口利用助成の各種利用助成制度を活用しましょう。
- (2) コシヒカリの平日利用助成の設定日は、9/7(月)～11(金)、14(月)～18(金)です。
なお、生育状況や今後の天候により、変更となる場合があります。

生産記録簿は必ず記帳し、出荷時にJAに提出して下さい

まもなくゴール

適切・丁寧な作業で、高品質なアルプス米に仕上げましょう！



4 乾燥作業



【YouTube】
17 乾燥作業

＜作業ポイント＞

- ①外気温や湿度、張り込み量に応じた送風温度にしましょう。
特に収穫時の外気温が高い場合は、水分ムラを小さくするため、2～3時間の通風乾燥を行いましょう。
- ②収穫した籾の水分を確認し、籾水分に応じた乾燥作業を行いましょう（表1参照）。
- ③籾水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに水分をチェックしまししょう。
- ④玄米水分は14.5～15.0%に仕上げましょう。
- ⑤青米の混入状況に応じた乾燥機停止時の玄米水分で乾燥機を停止しまししょう（表2参照）。

表1 収穫時籾水分毎の注意点

収穫籾の水分	乾燥作業の注意点
20%未満の場合	・圃場内での胴割粒発生が懸念されるため、 <u>送風温度を下げ（機種標準マイナス5℃）、ゆっくり乾燥</u> しまししょう。 （例 乾燥機の張り込み量設定つまみ等を下げて調整を行う）
25%以上の場合	・急激な乾燥は胴割米の発生が多くなるため、 <u>2～3時間の通風乾燥を行い、送風温度を機種標準より下げてゆっくり乾燥</u> しまししょう。 ・籾水分17%程度で一度乾燥を止め、 <u>半日程度休止した後に再乾燥（二段乾燥）</u> しまししょう。

表2 乾燥機停止水分の目安

玄米100粒中の青米粒数	乾燥機停止時の玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
5粒以下	15.0～15.5%	乾く(-0.5%)
6～10粒	14.5～15.0%	変化なし
11粒以上	14.0～14.5%	もどる(+0.5%)



急激乾燥は厳禁！

5 調製作業

【YouTube】
18 調整作業



(1) 籾摺作業のポイント

- ①ゴムロールが劣化や減耗している場合は交換しまししょう。
- ②肌ずれ米発生防止のため、籾の温度を常温まで冷まし水分を確かめてから行いましょう。
- ③脱ぶ率が80～85%になるようゴムロールの間隔を調整しまししょう。
- ④籾が製品に混入しないように、選別機の調整をしまししょう。

(2) 選別計量のポイント

- ①皆掛重量は30.5kgに正しくセットしまししょう。
- ②網目は1.9mmを使用し、適正な流量で屑米などを確実に除去しまししょう。
- ③時々検定済の台秤で計量し、重量が正確か確認しまししょう。



高品質アルプス米

秋の農作業安全運動(8月20日～10月20日)

秋の農繁期には、コンバインによる事故が毎年多く発生します。余裕をもった作業計画を立てるとともに、事故防止対策を徹底しまししょう。

- ①コンバイン作業時は、衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用しまししょう。
- ②詰まったワラを取り除く時は、必ずエンジンを切りまししょう。
- ③後進時には、死角が多いので、補助者による誘導や確認を行いまししょう。
- ④万一の事故に備え、労災保険に加入しまししょう。

